

# ショパンを弾くために

～スペシャリスト「河合優子」がお届けするショパンへのアプローチ～



楽譜の見かた  
読譜と暗譜  
練習方法…そして、  
ステージで弾くということ

## プロフィール・河合優子

ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科修了。1995年マリーエンエバート・ショパン国際ピアノコンクール(チェコ)第3位入賞。

愛知県岡崎市出身。5歳よりピアノを始める。名古屋国立第一高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。1990年に来日したヤン・エキエルに認められ、大学院修了と同時に渡欧、ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院に留学、1994年研究科修了。

1995年マリーエンエバート・ショパン国際ピアノコンクール(チェコ)第3位入賞。同年10月、第13回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド・ワルシャワ)での批評記事(ヴァドモシチ・クルトウラルネ紙:ヤヌシュ・エキエル「スターは消えてゆく」)およびポーランド・ラジオ第一放送の特別ルポルタージュ番組が大きな反響を呼び翌1996年2・3月の14回のポーランド全国リサイタルツアーをきっかけに演奏活動に入る。

各国オーケストラと協演、数多くの国際フェスティバルに招かれ放送出演も多数。「スラヴの魂を持つ日本人」(キエツカ紙)「ユウコ・カワイの演奏会は真の芸術的イベントであった」(クリエル・ピトフスキ紙)などの評を得る。1999年ベアルトン・レーベル(ポーランド)のナショナル・エディション・ディスク全集に東洋人として初参加、外国人演奏家シリーズ第1弾「レント・コン・グラン・エスプレッジオネ」をリリースし各国で好評を得ている。同年10月、ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院主催ショパン没後150周年記念演奏会に出演、シリーズ最終日(ショパンの命日)には卒業生代表としてステージに立った。第1回・第2回ショパン国際ピアノコンクールin Asia審査員。百瀬雅恵、大塚敦子、ポト・レヘル、ヤン・エキエルの各氏に師事。

## 参考曲目

### ショパン

エチュード 作品10 より  
エチュード 作品25 より  
ワルツ 作品34 より  
ノクターン 作品9 より  
即興曲集 より  
バラード集 より

日時:2009年 11月 18日(水)  
10:00~12:00

会場:カワイ名古屋 2F コンサートサロン「ブルー」

受講料 学生・カワイ講師・音研会 ¥2,500  
会員 ¥3,000  
(楽譜会員・PTNA・JPTA・ショパン協会・Miyoshi Net)  
一般 ¥3,500

## 問い合わせ先

カワイ名古屋 Tel 052-962-3939 Fax 052-972-6427

地下鉄東山線・名城線「栄」駅、名鉄瀬戸線「栄町」駅下車。  
地下鉄3番出口、もしくはセントラルパーク10A出口より徒歩1分



2009年11月18日(水)10:00~12:00

河合優子ピアノレクチャー「ショパンを弾くために」申込み書

会員区分:学生・カワイ講師・音研会・楽譜会員(会員番号

)・Miyoshiネット・JPTA・PTNA・ショパン協会・一般

お名前

お電話番号

Fax番号

ご住所